



平成30年度食のみやことっとり キラリと光る食育推進活動

知事表彰

とっとりの食育 第7回 表彰事例集

県内では、数多くの団体が様々な視点で食育活動に自主的に取り組んでいます。
地域の特性を活かし意欲的に取り組まれている活動を表彰しましたので紹介します。

やさいで元気いっぱい活動

港ベジタース



団体の概要

所在地：境港市三軒屋町 5031-1
連絡先：0859-47-1045

工夫したこと

- 活動が定着化するように、食育の日の前日に野菜を届けようという日にちを設定した。
- 収穫したばかりの葉や土が付いた状態の野菜を直接手渡しすることで、生産者を身近に感じるとともに園児の印象に残るようにした。
- 受け取った野菜を翌日の給食で提供することにより、食材（野菜）と給食が繋がっていることを体験で学べるようにした。
- 講話や給食だよりを通じて活動の様子を保護者へ伝え、るとともにアンケートを実施して効果を可視化するようにした。

活動の成果

- 園児が野菜の名前を覚えるようになり、興味・関心が高まっている。また、生産者への感謝の気持ちも育まれている。
- 園児が野菜の受取りを楽しみにしていて、翌日の給食では受け取った野菜を見つけながら楽しく意欲的に食べている。
- 今までの夏野菜やさつまいもに加え、大根や大豆等園児の栽培活動の幅が広がった。
- 受け取った野菜や受取り時の写真を展示し保護者へ見てもらうことで、家族での食に関する会話が aumentando。

活動の概要

境港市内の全保育園において、6～2月の食育の日（毎月19日）の前日に自ら育てた野菜を保育園へ届け、園児へ直接手渡し、翌日の給食で提供している。また、野菜を育てる上で大変だったことや工夫したこと、食材にまつわる話を園児へ伝えたり、園庭の畑にて大根栽培指導も行っている。

受賞のポイント

- ・生産者が直接、園児に野菜を手渡したり、生産現場の様子を伝えたりする活動は効果的である。
- ・市内全園で継続して取り組まれている。
- ・園児から家庭や地域への波及効果が期待できる。

たべるたいせつキッズクラブ

鳥取県生活協同組合



団体の概要

所在地：鳥取市河原町布袋 597-1
連絡先：0858-85-0012



活動の概要

親子で学びながら食に関わる人々の想いや苦労を考え、感謝する心を持つ豊かな人間性を育むことを目的に、会員制の「たべるたいせつキッズクラブ」を運営している。家庭での食育は、年4回の機関誌発行による情報発信（旬の食べ物とレシピ集）と一緒に生協商品を届け、親子クッキングのきっかけを提供し、食への関心を大切にする「おたよりカード」にて会員と担当者との心の交流を深めている。

また、体験イベントでは、食の循環や環境を意識できるよう、地域の特性を活かし飼料米田植え＆稲刈り交流会や商品センターでのお仕事体験による生産や流通の流れを学ぶことで、感謝の気持ちを持つことに繋がっている。毎年大好評の「夏休み親子実験教室」では身近な食べ物を使って食品の安全性を伝える工夫をし、様々な角度で食の大切さを伝えている。

工夫したこと

- 体験イベントに参加しやすいよう、会場を東部・中部・西部エリアに設定している。
- 通信型の学びの場として、「キッズブック」と称して子どもの目線で学べるよう、旬の食べ物情報を始め、「食べ物と健康」の内容を小さな子どもでも理解できるようにイラストや写真を多く使用し、レシピとの2本立てで、自然と食への興味関心を引き出す工夫を散りばめている。
- 体験イベントと通信型を組み合わせ、より多くの会員が実践できる形を作ることで、多様かつより多くの参加が広がっている。

活動の成果

通信型では、各家庭で「食育」に関する大切さや考える機会、家族のふれ合いの場を提供できている。夏休み親子実験教室の内容は、食の大切さの再認識とともに自由研究にも活用でき、大変好評である。飼料米田植え＆稲刈り交流会では、実際の体験とともに生産者と直接ふれ合える機会となり、顔の見える関係が築け、循環型農畜産業の意義とともに、お米（食）のありがたさを実感されている。



- ・通信型教材は内容に栽培から調理まで幅広く盛り込まれており素晴らしい。
- ・体験イベントを地域ごとに開催し参加しやすい工夫がみられる。

鳥取県のこれからの食育で

豊かな人間性を育む食育～「栽培・料理・共食」の実践～

私たちは毎日食事をして生活していますが、その食事は、生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性を育んでいく基礎となります。

五感すべてを使う栽培、収穫、料理などの体験を通じて、自分の手で成し遂げる喜びを積み重ねることで「生きる力」の基礎を育み、食べることは命を受け継ぐことであることを実感し、「食」や「食」を支える全ての人、自然の恩恵に対する感謝の心を養うことができます。

だし博士になろう

北栄町食生活改善推進員連絡協議会

団体の概要

所在地：東伯郡北栄町由良宿 423-1
連絡先：0858-37-5867



工夫したこと

3種類のだしを用意し、それぞれの特徴を学ぶ。みそ汁はだし無しのもも用意し、児童がだしの有無による「うまみ」に気づけるよう配慮した。

「地元（または食生活改善推進員手作り）のみそ」を使用し、郷土への愛着を深めることもねらいとしている。

活動の概要

栄養教諭と連携し、北栄町の小学校高学年を対象にだしについて授業を行っている。煮干し、かつお節、昆布の3種類のだしのとり方やそれぞれのだしの特徴を学び、だしのまま、だしを入れたみそ汁をそれぞれ試飲する。授業内容をまとめた資料を栄養教諭が作成し、授業後配布することで家庭への啓発につなげる。

活動の成果

だしそのものを飲んだことがない児童も多く、興味深く試飲し、みそ汁にだしを加えることで味が変化することに驚いていた。

受賞のポイント

- ・化学調味料に頼りがちな現代に、「だし」に着目した点が素晴らしい。子どもだからこそ、自然の味を教えたい。
- ・家庭での実践につながりやすい。
- ・マニュアル化されており、他地域への波及も期待できる。

大切にしたい2つの基本指針

食のみやこである鳥取県の特性を生かした食育

鳥取県は、都市部に比べて農林水産業の現場と消費者との距離が近く、食を身近に感じることができるといった利点があります。

四季折々の気候風土に恵まれた県内各地で米・野菜・果物などがバランスよく生産され、水産業では境港が全国でも有数の漁業基地として知られているなど、食を学び体験する環境に恵まれています。

食を通じて健やかに「生きる力」を育むために

食のみやこととり～食育プラン（第3次）～（2018年度～2023年度）より
（平成30年度）

鳥取県では、「『栽培・料理・共食』を実践し、食を通じて『生きる力』を育み、心身ともに充実した生活を実現すること」を県民の目指す姿とし、食育を推進していくこととしています。

食育を総合的かつ計画的に推進するため、県の関係組織が連携・協力しながら取り組むとともに、家庭（県民）、保育所・幼稚園、学校、生産者団体、食品事業者、地域の団体、市町村等、関係機関とともに鳥取県のこれからの食育を推進していきます。

食を通じて健やかに「生きる力」を育み、 心身ともに充実した生活を実現する

基本方針

- 豊かな人間性を育む食育～「栽培・料理・共食」の実践～
- 食のみやこである鳥取県の特性を生かした食育

県民みんなで実践する5つの重点目標と14の目標

重点目標

ライフステージに
応じた健全な
食習慣を実践する

食に対する
感謝の心を養う

食の循環や環境を
意識した活動を
実践する

豊かな食文化を
継承する

食に関する正しい
知識を持つ

目 標

家庭や地域で家族や友人と楽しく食卓を囲む

主食・主菜・副菜を揃えた食事をする

1日3食、規則正しく食事をする

食と農林水産業の関わりを理解する

体験活動を通して

食事づくりや準備に関わる

食事のあいさつを実践する

食べきり運動等による食べ残しの削減を行う

余剰食品等を有効に活用する

地元のおいしい食材の良さを学び活用する

地域の郷土料理を学び、継承する

とっとりの食を情報発信する

食の安全について正しく理解する

食品表示を参考に食品を選択する

食生活と生活習慣病の関わりを学ぶ

鳥取県食育推進活動知事表彰について
鳥取県食育推進計画について

<http://www.pref.tottori.lg.jp/202828.htm>
<http://www.pref.tottori.lg.jp/82928.htm>



発行

鳥取県福祉保健部健康医療局健康政策課
TEL 0857-26-7861 FAX 0857-26-8143